

## 《山口市協働推進プラン改訂版策定について》

### <これまでの経緯>

- H23. 12月 有識者で構成する「協働のまちづくり推進委員会」内にプラン策定部会を設置
- H24. 2月 まちづくりの主要な主体となる地域づくり協議会と市民活動団体に対するアンケート(部会作成)の実施
- H24. 7月 策定部会にて中間案の作成
- H24. 8月 市民と共に作成していくというスタンスから、プランの骨格づくりの段階でまずは中間案としてパブリック・コメントを実施(あわせて関係各課に意見聴取)
- H24. 11月 策定部会にて最終案の作成

### <内容について>

#### 1 これまでの取り組みを整理

- ①新規、継続、検討中といったこれまでの実施状況一覧の掲載 P53
  - ・全47項目中、91.5%で実施（実施済8、継続推進33、一部実施2、検討中＝（廃止）4）
  - ・廃止する項目については協働のまちづくり推進委員会へ報告説明済

#### 2 協働推進プラン策定時(平成21年3月)からの状況変化に応じた内容変更

- ①事業者や教育機関もまちづくりの主体として明確化
  - ・P11「協働によるまちづくりのイメージ図」→行政、地域コミュニティ、市民活動団体の三角形から、事業者、教育機関も加えた星型に変更した。（様々な主体の連携をイメージするため）
- ②地域づくり協議会の位置づけの明確化
  - ・P20「地域づくり協議会」→これまでのプランでは今後の取り組み内容の一つであったが、既に全ての地域で組織されているため、まちづくりの主体の中の地域コミュニティの項目に掲載した。
- ③地域づくり活動の運営方法の明確化
  - ・P22「地域づくり活動サイクル(PDSサイクル)の確立」
- ④地域づくりの将来的なプロセスの明確化
  - ・P29「地域づくりの充実に向けたプロセス」

#### 3 読みやすさを最重視した構成に変更

- ① 改定版では、とにかく市民のみなさんに読んでもらいたいため、レイアウトの変更や、重複したものを省略、キャラクターの活用等により読みやすさを重視
  - ・平成22年に協働のまちづくりマスコットキャラクターとして、公募により決定された「キヨードーレッド」を活用し、紙面の明るさと、重要なことをコメントとして発することによるアピール効果を狙う。（キヨードーレッドのコメントのみを読んでもある程度の内容が理解できる構成）
  - ・P2「協働推進プランの位置づけ」やP4「本市を取り巻く状況」をはじめ、全体的に重複する部分をスリム化

#### 4 新たな実行計画の策定(5か年)

①アンケート結果やこれまでの会議等でいただいた意見等を踏まえ、平成25年度から平成29年度までの新たな実行計画を作成(新規項目:12)

##### 主なもの

I 地域づくり交付金や地域づくり協議会の位置付けの明確化

P37「地域づくり交付金制度の充実」 P39「地域づくり協議会の充実支援」

##### II 新たな自治組織の検討

P40「新たな地域自治組織の検討」

##### III 協働によるまちづくりの理念の発信機能の充実

P43「協働に関する講演会や説明会の開催」「様々な協働PR手法の作成・活用」

##### IV(仮称)地域活性化センターによる地域づくり支援のための人材育成と新たな公共(地域課題の解決)を担う主体が協働できる核の形成

P42「(仮称)地域活性化センターの設置」

#### ＜今後のスケジュール＞

H25. 1月 最終案議会説明を実施

H25. 2月 最終案についてパブリック・コメントを実施

H25. 3月 協働推進プラン改訂版完成